

ロボット関連技術PRカード

1. 企業概要

会社名	株式会社 <small>えーあい</small> AIハヤブサ			代表者名	村松 洋明		
				窓口担当	村松 洋明		
事業内容	AIソフトウェア開発、AI 関連設備開発			URL	https://aihayabusa.co.jp/		
主要製品	案件毎にカスタムで制作・開発する AI ソフトウェア						
所在地	〒041-0801 北海道函館市桔梗町 379 番地 13						
電話/FAX 番号	0138-76-4659 / 0138-76-4659			E-mail	info@aihayabusa.co.jp		
資本金(百万円)	10	設立年月	1954 年 3 月	売上(百万円)	—	従業員数	—

2. PR事項

『ご要望仕様に応じカスタムでAIソフトウェアの開発を致します』

当社は、光学関連機器メーカー・株式会社ミラック光学の代表者が『外観検査精度の向上には光学技術だけでなく、画像処理ソフトの性能アップが不可欠』との理念からスタートした会社です。AI 研究の第一人者である松原仁教授を取締役に迎え、公立はこだて未来大学・函館高専などとも連携しています。ユーザーニーズに合わせ機械学習・ディープラーニング・画像処理の技術を駆使し、さまざまな課題解決のご提案をさせていただきます。また、AI 検査ロボットの開発や、第一次産業に AI イノベーションを起こす取り組みに挑戦しています。

【開発事例① 自動車部品の外観検査】

- ・対象物 自動車部品
- ・お困り事/課題 目視で部品の外観検査を行っている為、検査基準が人によって違う、過検出が多いといった課題があり、AI で最適化したい。
- ・開発内容 高解像度カメラ、照明を取り付けたロボットアームで多角的なアングルから対象物を撮影し、その画像から複数種類の欠陥を検出する AI ソフトウェアを開発。

<検査イメージ>



*実際の検査対象物ではありません

【開発事例② 一次産業用 AI 画像解析システム】…プロトタイプ機の開発

- ・対象物 農作物全般(プロトタイプ機はトマトにて開発)
- ・農作業の課題 見回りに時間がかかる、収穫時期や収穫量の予測が初心者には難しい、データの共有・参照が難しい。
- ・既存の農業系 IT サービスの課題 定点での観測となり広範囲の観測・測定ができない。データを測定のための製品が多い、作業ロボットは高額な製品が多い。
- ・開発内容 ハウス内のデータや画像を収集し、色や大きさなどから成熟度を診断。最適な収穫時期の農作物を検出し通知、数量もカウントする AI 画像解析システム



【その他の開発事例】

- ・自動車のエンジン部品の外観検査 AI ソフトウェア→照明条件により識別が困難な部品の外観検査ソフト
- ・室内の人数カウント AI ソフトウェア→360 度カメラで撮影した人の頭頂部を識別するソフト など多数

3. 特記事項 (得意技術以外に PR したい事項 例: 特許情報、応用分野、表彰・認定)

- 平成 29 年 経済産業省より地域未来牽引企業(北海道)として選定されました。
- 令和 2 年 J-Startup HOKKAIDO 認定スタートアップ企業に選定されました。